

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 規 則

本大会は、2017年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項によって行う。

## 2. 練 習

トラックの外側を使用すること。但し、投てき・跳躍は係員の指示により実施する。なお、状況に応じてバックストレートを開放する。

## 3. 招 集

- ① 招集はチェック方式とする。
- ② 招集は招集所において本人が行うものとする。招集所は100mスタート後方に設ける。
- ③ 招集に遅れた場合は棄権とみなす。
- ④ トラック・フィールド内入場は全て係員の指示にしたがって規律ある行動をとる。
- ⑤ 招集時刻は下記の通りとする。

種 目	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	40分前	20分前
フィールド競技	60分前	40分前

## 4. ナンバーカード

- ① ナンバーカードの大きさは、横22cm～24cm×縦18cm～20cmとし、数字の大きさは縦6cm～10cmで作成する。作成したものを胸部・背部に各々つけるが、走高跳・棒高跳の選手はどちらか片側でも良い。
- ② 腰ナンバーカードを招集所で受け取り、競技終了直後、フィニッシュ地点で返却する。腰ナンバーカードは、右腰やや後方につけること。

## 5. 走路の決定及び競技順序

トラック競技予選の走路及びフィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。

## 6. リレー

- ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。その後、出場者4名が招集完了時刻までに招集所にて招集を受けること。
- ② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、可能な限り4名統一した物を着用すること。

## 7. 跳躍競技のバーの上げ方

審判長及び跳躍主任の判断により、係員が指示する。

## 8. 検 査

用器具の検査は、両日とも8:30～9:00に行う。検査の対象は棒高跳のポール、および投てき物とする。

## 9. トラック競技

- ① トラック競技の決勝の番組編成は、本部で抽選し掲示する。
- ② 400mまでの種目およびリレー競技において、同タイム者（チーム）については判定写真を細部（電気計時1/1000）まで読み取り着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。

## 10. 入賞および得点

### 【湘南地区】

- ① 入賞は6位までとする。
- ② 得点は各種目1位6点、2位5点、…6位1点とする。
- ③ 合計得点により、男女別学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。）

### 【横三地区】

- ① 入賞は8位までとする。
- ② 得点は各種目1位8点、2位7点、…8位1点とする。
- ③ 合計得点により、男女別1部、2部、総合の学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。）

## 11. 表 彰

### 【湘南地区】

- ① 各種目6位まで賞状を授与する。
- ② 学校別表彰は、男女とも6位まで賞状を授与する。

### 【横三地区】

- ① 1部、2部、共通各種目3位まで賞状を授与する。
- ② 学校別表彰は、1部、2部男女とも3位まで、総合は男女とも6位まで賞状を授与する。

## 12. その他

- ① プログラムの訂正は、両日とも 8:30 までに本部に申し出ること。
- ② 待機場所としてのテント設置可能区域は、スタンド後方およびスタンドのみとする。ただし、写真判定室周辺および本部ダッグアウトから 3 ブロックはテントの設置を禁止する。
- ③ 服装（ユニフォーム・パンツ）は見苦しくないように注意すること。
- ④ 更衣室は清潔にすること。
- ⑤ 使用した観覧席はきれいにし、ごみは全て持ち帰ること。
- ⑥ 本競技場は全天候舗装である。よってスパイクのピンはトラック 9mm、走高跳およびやり投は 12mm 以内とする。
- ⑦ 貴重品は各自で保管し、更衣室には置かないこと。
- ⑧ 各校生徒役員は、両日とも 8:30 までに本部にて受付をすること。
- ⑨ 第 2 日目は、競技終了後に閉会式を行う。

13. 競技中の事故などの応急処置は主催者側が行うが、その後の責任は一切負いません。

### ◆競技会における事故防止について

- ① 競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。
- ② 競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。
- ③ 競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。
- ④ トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ⑤ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。

### ◆撮影に関するお願い（一般来場者・学校関係者のみなさま）

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください

- ① 撮影は全て、スタンドから行ってください。
- ② 撮影ができるのは「撮影許可証」を申請し、許可証を身に着けている方のみとします。「許可証」を身に着けていても保護者及び本人の承諾の無い撮影は禁止します。
- ③ 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影・行動を禁止します。  
例・トラック種目のスタート時の前方・後方からの撮影は禁止。
  - ・走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳等の助走後方や着地正面からの撮影は禁止。
  - ・走高跳、棒高跳等のマットに向かった正面（クリアランス動作中）からの撮影は禁止。
  - ・投擲種目における選手の正面からの撮影は禁止。
  - ・競技者がスターティングブロックを合わせている際や試技を待っている間など準備を行っている際の撮影は禁止。
  - ・その他、競技者の迷惑と思われる撮影は禁止。
- ④ 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者側で判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。
- ⑤ 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていただきます。
- ⑥ 競技運営上、競技役員判断により、撮影禁止エリアを設ける場合があります。
- ⑦ その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により（大会当日を含む）変更する場合があります。その際には競技役員指示に従ってください。

※ 盗撮行為や迷惑行為を発見された場合は、お近くの競技役員までお知らせください。発見次第、記録媒体を没収の上、所轄警察署に通報します。

### ◆競技場への入場について

- ① 場所取りのために優先して入場できるのは、**各校 3 名**までとする。優先入場を希望する学校の 3 名は、入場門前に整列すること。入場順は先着順とする。**ただし、顧問の引率が確認できない場合は列に並ぶことができない。（担当で確認をする段階で、顧問の引率が確認できない場合は、整列していても列から抜けていただきます）**
- ② 3 名以外は後方に先着順に整列する。その際、自校のメンバーが居る位置に割り込むことがないようにし、後から来た者は列の最後尾に並ぶこと。